

地域の話 アニマル

松江 公民館・支所複合施設 吉儀議員が質問

東出雲町では、来年4

月から4つの公民館を廃止し、1つの公民館にする計画がありますが、下意東・上意東・出雲郷は4月から公民館がなくなり、住民からは「どのようにならぬか」など説明が不十分との声が上がっています。

特に、下意東公民館は「地震で壊れるので使えない」と考えている住民もあり、耐震基準を満た

し、避難所に指定されていることなど「住民に明らかにすべきではないか」と質問しました。

清水伸夫教育長は「町民への状況報告が徹底されていないなら、地元の方々と協議しながら徹底したい」と答弁しました。(「新しい松江」より)

雲 国保料減免対象拡大 後藤議員が要求

後藤議員「現在の国保料減免制度は、昨年は会社勤めで給料所得、今年

った人の場合、コロナ禍で収入が前年比3割以上減少しても減免対象になりません。国の制度の隙間を埋めるため減免措置の改善を求めます。

岡健康福祉部長「国の減免制度では対象にならない場合でも市独自の拡充を行う考え。(「ごとう由美の市議会報告」より)

津 7月豪雨災害 被災地からの声

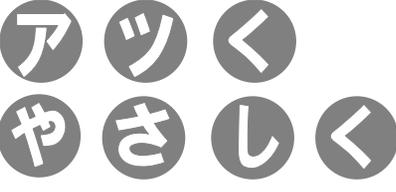
日本共産党江津市議団は、7月の豪雨災害で大きな被害を受けた桜江町川越で聞き取りを行いました。(一部を紹介)

米軍の横暴勝手ゆるさない

「不安で夜も眠れない」「しつかり対策をとって二度と起こらないようにして」と一話するのは広島市西区にお住まいの70代女性Tさん。10月3日の夜9時半、米軍岩国基地所属で22歳の海兵隊員がお酒に酔ってTさんのお宅の窓を叩き割って侵入し、ご夫婦に「お金！お金！」と迫るとい



大平よしのぶ 前衆議院議員



う事件が発生しました。駆けつけた警察に現行犯逮捕されたが、幸いご夫婦は無事でしたが、私が事件から3日後、ご自宅にお見舞いに伺った際もTさんは手を震わせていました。「殴りこみ部隊」と称され、日々戦闘訓練をしている海兵隊員が突然襲ってきたのです。ご夫婦が感じた恐怖はどれほどのものだったか想像に難くはありません。

岩国基地は空母艦載機60機の移駐に加え、この間、墜落事故を繰り返している欠陥機F35Bが2017年に16機配備され、今年10月から「機種更新」の名のもとに、さらに16機の追加配備が狙われています。

そうした中で、広島県では低空飛行訓練の目撃件数が16年度1277件だったのが、18年度には1843件と1.5倍に増え、岩国の錦帯橋上空から広島市の原爆ドームの上まで、市街地でも当たり前のようになり、鳥取県の最東端の若狭町でも爆音飛行が増えています。岩国基地の増強が中国地方全体で爆音被害と墜落や犯罪の危険を広げ、住民の平穏な暮らしを奪っているのです。

くらしと命を守る県政へ ②市町村における男女共同参画の状況 (R2.4.1現在)

日本共産党県議団(尾村利成、大国陽介の両県議)が県に対して資料要求し、入手したデータ(資料)について紹介していきます。

【不定期掲載】 ●ジェンダー平等社会「世帯主」規定廃止を 公益財団法人しまね女性センターが実施した「新型コロナの女性への影響に関するアンケート」(本年5~6月)では、コロナの影響で深刻な経済困難や仕事に対する不安を訴える声が多数寄せられ、1人当たり一律10万円給付の「特別定額給付金」の受給権者が世帯主とされたことに対し、ジェンダー平等の観点からの批判が寄せられています。戦前の封建的な「家制度」の「戸主」を引き継ぎ、法律の裏付けもなく日本国憲法の理念にも反する「世帯主」規定は廃止すべきです。

●ジェンダーの視点を政策決定に 尾村県議は9月県議会の質問で、「コロナ対策や災害時の避難所運営など、あらゆる政策決定にジェンダーの視点を取り入れるべき」と求めました。 半場祐子女性活躍推進統括監は「あらゆる分野で女性の参画拡大を図る必要がある」と答えました。

Table with columns for municipalities, council members, management staff, and gender equality indicators. Includes data for cities like Matsuyama, Hamada, and others.

(10月22日記)